

◆トピック (文責:西日本支部主任 中川)※受入れ開始時期順

【(株)ヤヨイサンフーズ九州工場様】

・7月の日本語能力試験に8名中5名が受験予定。現在は、日本語レベルが高いわけではないが、向上心のある人材が多い。5月の特定技能2号試験も2名の受験者がおり、ほとんどの人材が長期滞在を希望しているので、弊組合としては定着を目指し取り組んで参ります。

【下関工場様】

・4月4日、調合、らいかい、焼き場、包装(前回欠席者)の全工程で労災防止教育を実施。特定技能外国人から、以前清掃時に稼働しながら清掃していた業務について、現在は停止して業務を行っている事を確認した。また工場様の取り組みとして、安全安心カメラにて抜き打ちで機械を停止して清掃業務を確認している事が分かった。

・4月6日、特定技能外国人より駅に駐輪していた自転車が盗まれたと連絡があった。弊組合駐在員のサポートのもと警察へ盗難届を提出した。数日後、自転車が戻ってきたが、特定技能外国人は鍵が故障していてかけていなかったとの事。鍵は2重にかけるよう注意を行った。

【(株)マルハニチロ九州様】

・現場より、日本語力の低くコミュニケーションが困難な人材に対して相談が寄せられた。弊組合として、工場によく使われている日本語を勉強させ、毎週金曜日にテストを行っている。テストの結果、簡単な日本語であれば理解しているので、日本語の底上げが出来るよう取り組んでいく。

・特定技能外国人より、ルームメイトと不仲な為、宿舎を引越したいと要望があった。お互いにヒアリングを行ったところ、相談してきた人材の方に非があることが判明。このレベルで宿舎を引越させていたら50名の人材を雇用しているのに收拾がつかなくなることを案内して理解して頂いた。

監理・支援活動風景



特定技能外国人面談(YSF九州)



実習生面談(MN九州)



労災防止教育(MN下関)



日本語学習(MN九州)

【スタッフ独り言】日々外国人の定着の為様々な取り組みを行っているが、簡単に退職されてしまうと果たして人材の為になっているのかと疑問に思う事がある。(中川)